

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 08010010

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	B		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	子育て支援拠点事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	8 保育所		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	遊びの広場利用者数、親子教室開設数、相談業務数、赤ちゃん訪問件数		関係課	#N/A		
事業目標	年間利用者数3,800人、親子教室120回、相談業務50件、訪問件数30件		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	子育てボランティア	関係例規・法令名	有 地域子育て支援拠点事業実施要綱		
			関係個別計画名	有 雄武町子ども・子育て支援事業計画		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力 こんにちは赤ちゃん訪問	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力 こんにちは赤ちゃん訪問	育児相談 あそびの広場 子育てサークル支援 特別保育事業等の積極的実施、普及促進の努力 こんにちは赤ちゃん訪問	
	事業費(千円)	3,750	750	750	750	750	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	3,750	750	750	750	750	
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,517	680	621	627	589	
	財源内訳						
	国庫支出金	922			627	295	
	道支出金	1,595	680	621		294	
	地方債	0					
関 連 事 項	特定財源の名称						
	子育て支援対策事業費補助金	【評価・実績】	(実施内容等) 育児相談(59件) 親子教室120回(利用者数1,832人) 開放日245日(利用者数1,928人) 関係機関との連携事業(健診、子育て講話)、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 育児相談(67件) 親子教室126回(利用者数1,974人) 開放日245日(利用者数1,440人) 関係機関との連携事業(健診、子育て講話)、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 育児相談(89件) 親子教室124回(利用者数1,647人) 開放日244日(利用者数1,035人) 赤ちゃん訪問(12件)※内1件養育者支援 関係機関との連携事業、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 育児相談(97件) 親子教室126回(利用者数1,417人) 開放日243日(利用者数2,128人) 赤ちゃん訪問(10件)※出生26件 関係機関との連携事業、特別保育事業の積極的実施・普及促進の努力 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	利用者数5,000人、親子教室130回、相談業務50件	利用者数3,800人、親子教室120回、相談業務50件	利用者数3,800人、教室120回、相談50件、訪問30件	利用者数3,800人、教室120回、相談50件、訪問30件	利用者数3,800人、教室120回、業務50件、訪問30件
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	91%	83%	84%	79%	0%
		全体達成率	18%	35%	51%	67%	67%
	備考欄						

事業名	子育て支援拠点事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	大水 麻理
		評価者 作成者 職氏名	児童保育係	八重樫 聖子

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子育て家庭	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	年間利用者数、親子教室開催回数								
【抱える課題やニーズは】	子育てに対する不安や戸惑いを感じる母親が増加している。共感しあえる仲間との交流を求めている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	母親達が相互支援、情報交換、助言を受けられる環境により育児不安を解消できる。地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、関係機関との連携により育児支援の充実を図る。	① 年間利用者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3800人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3555人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>93.6%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	3800人	実績値	3555人	達成度	93.6%
目標年度	平成28年度										
目標値	3800人										
実績値	3555人										
達成度	93.6%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	育児不安の軽減と、孤立した子育ての解消により、親が前向きに子育てができ、子どもが健やかに育つ。	② 親子教室開催回数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>120回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>126回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>105.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	120回	実績値	126回	達成度	105.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	120回										
実績値	126回										
達成度	105.0%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	<p>仲良し親子教室、センター開放</p> <p>育児相談、連携事業</p> <p>普及促進活動</p>	<p>家庭育児中の親子を対象に、年齢に応じた集団遊びの体験、家族以外とのふれあいを通じて社会性を伸ばし、親子共に仲間づくりができる場を提供した。毎日支援センターを開放することで個々の生活リズムに合わせた気軽な利用ができるよう、親子の居場所づくりを行なった。</p> <p>来所する親子との交流を通じて育児、子どもの発達、保育所等に関する相談業務を行なった。『こんにちは赤ちゃん訪問』『育児講座』等保健係との連携事業を行い、子育て世帯の身近な存在として早い段階から関わりを持つことで、関係機関のパイプ役となり地域一体の育児支援を行なった。</p> <p>①町広報紙、HPIに情報を掲載するほか、保健事業に参加し町内全ての乳幼児、保護者との関わりを持つことで支援センターをより気軽に利用できるよう存在を伝えた。②育児講座等保健係と協力することで内容の充実と、妊娠中の段階から幅の広い周知ができた。</p>									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	認定こども園は地域における子育て支援を実施する機能を兼ね備えていることが必須である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	保育所入所児が増加する一方で、開放日の利用は増えており多様化する親子の状況に適した仲間との交流、育児不安軽減の場の確保等、本事業目的を十分に達成している。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	支援センターが保育所内に存在していることで、職員間の相互連携や施設、物品等の共有ができ効率的に機能している。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	保健係、教育委員会等関係機関との連携を図りながら町内すべての乳幼児、保護者を対象に事業を展開しているため、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
保育所入所児童の送迎時や、短時間保育児親子が午後利用するなどそれぞれの生活リズムに合わせた利用が増加。妊婦と早い時期から関わりを持つことで各関係機関との連携事業への参加や相談件数も増え孤立させない子育て支援が実践できた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
発達支援も意識しながら孤立した子育てによる育児不安解消、虐待防止のため子育て家庭とつながる関係を絶やさず今後においても情報提供や関係機関との連携を強化し切れ目のない支援の充実を図っていく。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止